

令和6年度 特別の教育課程（立川市民科）の実施状況等について

1. 学校名 立川市立第七小学校

2. 令和6年度 学校における自己評価（箇条書きでご記入ください。）

立川市民科の取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と関わることにより、自分たちの住むまちの良さを知ることができた。（低学年） ・地域の「人」「もの」「こと」について協働的に学ぶことで、「自分のまち」として愛着をもつ態度が育まれた。（中学年） ・地域の方との交流を通じて、地域社会への参画意識が高まり、まちに貢献しようとする態度の育成につながった。（高学年）
立川市民科の取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとに取り組み内容や質にバラつきがあるため、「課題設定」「情報収集」「整理・分析」「まとめ・表現」のスパイラルを系統的に積み上げる、カリキュラム設定に課題が見られる。 ・探究的な学びを促進する指導力が必要である一方、通常の教科指導と並行して進めるには時間的・専門的な支援が不足している。

3. 令和6年度 学校評価に係る共通項目のうち

①対象：児童・生徒

項目：⑫立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

（割合）

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
56.7%	27.8%	8.9%	3.3%	3.3%

②対象：保護者

項目：⑪立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

（割合）

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
43.9%	36.6%	4.9%	4.9%	9.8%